

令和8年度 岐阜県

自然共生工法写真コンテスト

応募作品

No. 1

）

No.28

主催

岐阜県自然共生工法研究会
岐阜県



清流ミナモ



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	自然と調和した木製遊歩道
撮影場所	岐阜県 揖斐郡 大野町 野 地内
撮影日	令和8年4月25日
応募者コメント	山中から湧き出る水を利用した水路や湿地帯を跨ぐ散策道として自然と調和した木製遊歩道が整備されています。日差しの強い日でも暑さを和らげる木陰で森林浴を楽しみながら動植物を身近に観察することができます。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	睡蓮
撮影場所	岐阜県大垣市野口町八反割（杭瀬川）
撮影日	令和8年7月4日
応募者コメント	杭瀬川河川敷を利用した『杭瀬川スポーツ公園』内にある睡蓮池です。水辺空間を利用して自然環境に配慮された公園です。7月上旬（7時～9時）から睡蓮が、可憐に咲き始めます。浮橋も設けられており、散策には大変適した場所になっています。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	緑に寄り添う川づくり
撮影場所	郡上市白鳥町六ノ里（牛道川）
撮影日	令和8年7月9日
応募者コメント	白尾山の豊かな森に育まれた牛道川。自然石を用いた護岸や階段状の落差工は、治水だけでなく魚類など水辺の生き物にも配慮され、周囲の景観に美しく溶け込んでいます。人と自然が支え合う川づくりの大切さを、この清流が静かに語りかけてくれます。

④



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	聖牛の群
撮影場所	岐阜市東島付近（長良川右岸）
撮影日	令和8年2月21日
応募者コメント	伝統的な治水工法の一つである「聖牛」。河岸浸食等の抑制だけでなく、生物の生息環境提供、景観のアクセントなど多面的な役割を果たす。岐阜市東島付近では、水衝部と見られる区間に、国土交通省により聖牛がまとまって設置された。

⑤



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	聖牛の群
撮影場所	岐阜市東島付近（長良川右岸）
撮影日	令和8年2月21日
応募者コメント	伝統的な治水工法の一つである「聖牛」。河岸浸食等の抑制だけでなく、生物の生息環境提供、景観のアクセントなど多面的な役割を果たす。岐阜市東島付近では、水衝部と見られる区間に、国土交通省により聖牛がまとまって設置された。

⑥



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	山との共生
撮影場所	揖斐川町春日（岐阜のマチュピチュ）
撮影日	令和8年5月5日
応募者コメント	まちづくりが山と美しく調和しており、人間と山とのあるべき共生だと感じた。

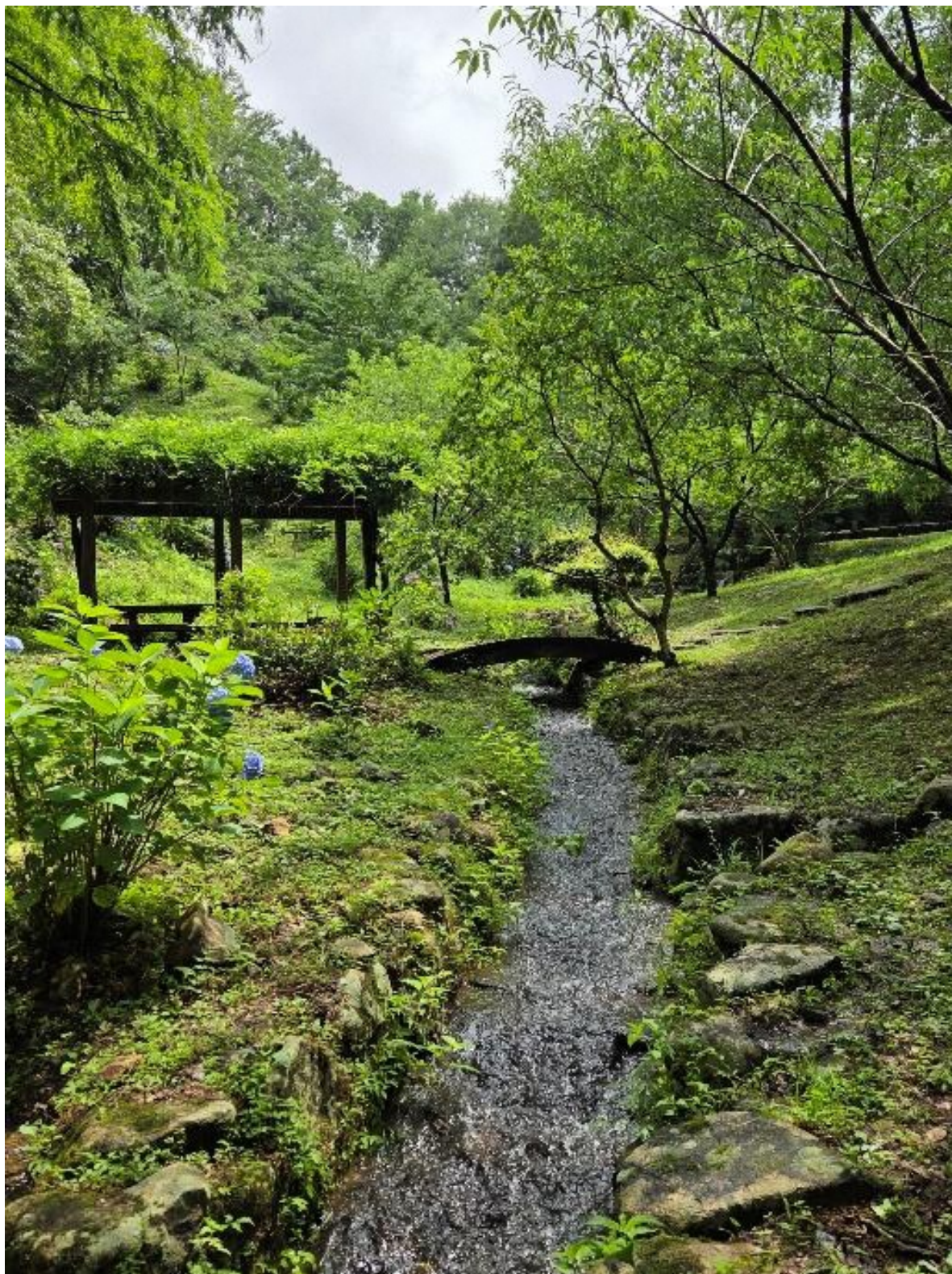
⑦



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	雨上がりの静けさ
撮影場所	可児市久々利柿下入会（荒川豊蔵資料館）
撮影日	令和8年5月1日
応募者コメント	人間国宝の荒川豊蔵さんの居宅だった建物が保存されています。 工法の良い点として、地形を大きく改変していない、地形に合わせて自然石を使って階段を設けている、木立を保全している、植生は適切に管理されている事が挙げられます。

⑧



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	梅雨の晴れ間にざわめく自然
撮影場所	美濃加茂市山之上町（みのかも健康の森）
撮影日	令和8年6月28日
応募者コメント	工法の良い点として、小川の流れは直線的でなく、護岸の肩や水際も直線的ではないこと。護岸は人工的な材料ではなく、河岸の勾配はゆるく階段もあること。さらには橋と藤棚があり、水辺に親しみやすくなっている事が挙げられます。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	潺（せせらぎ）
撮影場所	揖斐郡揖斐川町上野 朝鳥公園（浅取谷）
撮影日	令和8年7月25日
応募者コメント	玉石護岸張りになっていてキャンプも出来る親水型公園になっています。さすがに酷暑日に近い気温なので遊びに来ている人は少なかったです。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	緑との共存
撮影場所	多治見市大畑町2丁目（大洞川流路工）
撮影日	令和8年7月3日
応募者コメント	平成5年度に完成した県単砂防環境整備事業。その現場は、事業完了から30年以上が経過した今も地域に息づいています。 近年の夏は、30年前とは様変わりしました。猛暑や酷暑の日々が続き、ひとたび雨が降れば災害級の豪雨となることも珍しくありません。 そんな厳しい自然環境の中で現場を巡視していると、ふと心が和らぐ風景に出会いました。長い年月を経て、地域とともに歩み続ける流路施設。その一角で見つけた、自然が見せてくれた優しい風景をご紹介します。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	魚道のある風景
撮影場所	本巣市山口（根尾川）
撮影日	令和8年7月19日
応募者コメント	根尾川はきれいな水と美しい山々が織りなす自然環境が豊かな、まさに「清流」です。景観の良さがあり、地元や関係者がその魅力に惹きつけられています。その根尾川での魚道がある風景を撮影しました。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	よみがえれ！中橋の水辺
撮影場所	高山市神明町（宮川）
撮影日	令和8年7月21日
応募者コメント	河川の河床洗掘対策として木工沈床による護床工を施工した高山市中橋上流の現場です。治水機能を確保しながら植生の回復を促し、生物の生息環境にも配慮した自然共生型の河川整備事例です。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	植生回復を育む水際の創出
撮影場所	高山市上岡本町（苔川）
撮影日	令和8年7月21日
応募者コメント	河川改修に伴う護岸施工において、護岸前面へ土砂を配置することで植生の自然回復を促進した。加えて、河道内に緩やかな蛇行を創出することで、水際に変化に富んだ環境を形成し、多様な生物の生息空間を確保した。景観の保全にも配慮しながら、河川の安全性と自然環境の調和を実現している。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	自然石を活用した石組による河床低下対策
撮影場所	郡上市白鳥町町越佐（長良川）
撮影日	令和8年7月23日
応募者コメント	河床低下箇所自然石による石組を施工し、河床の安定と瀬と淵の再生を図った箇所である。 施工後4年経過、昨年6月末の豪雨後も損傷もなく、河床の安定が図られ周辺景観の調和のとれた箇所である。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	里山に息づく水辺の風景
撮影場所	中津川市蛭川地内（一ノ瀬川）
撮影日	令和8年7月14日
応募者コメント	既存の岩盤や植生をできる限り残しながら地元産のみかげ石を利用した護岸・水路を整備し、自然環境への影響を低減した。多様な水際環境が形成され、動植物の生息・生育の場を確保するとともに、農村景観との調和を実現している。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	東股川の石組帯工
撮影場所	中津川市付知町地内（東股川）
撮影日	令和8年7月17日
応募者コメント	河床に設置した石組帯工が流速を緩和するとともに、多様な流れと隠れ場を創出している。人工構造物の印象を抑え、溪流本来の景観に溶け込むことで、生態系保全と河川利用の両立を図った。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	下沢川とダイナミック砂防
撮影場所	中津川市蛭川地内（下沢川）
撮影日	令和8年6月1日
応募者コメント	平成初期の整備から30年以上を経て、河床の露岩と護岸石材が風景の中で自然に調和している。時間の経過とともに自然環境へなじみ、人工構造物を感じさせない良好な河川景観を形成している。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	木曽川とリニア橋梁
撮影場所	中津川市苗木地内（木曽川）
撮影日	令和8年5月7日
応募者コメント	中津川市の苗木城跡から望む木曽川の雄大な景観の中で、リニア中央新幹線の橋梁工事が進められている。周辺の自然環境や景観への配慮を重ねながら施工が行われており、地域の自然と未来の社会基盤整備の調和を感じさせる事例である。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	深緑を映す付知川
撮影場所	中津川市付知町地内（付知川）
撮影日	令和8年7月17日
応募者コメント	豊かな森林に育まれた清流が、透明感のある水辺環境を形成している。自然河岸や河床の岩石が残されることで多様な生態系が育まれ、人と自然が共生する良好な河川環境となっている。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	逆さ笠置
撮影場所	恵那市中野方町地内（中野方ダム）
撮影日	令和8年7月3日
応募者コメント	深い緑に包まれた中野方ダムの湖面には、笠置山と空が映り込み、美しい水鏡の景観を創り出している。治水・利水機能を果たしながら自然環境と調和した、地域の魅力を感じられる風景である。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	砂防の石張の全面魚道
撮影場所	下呂市阿多野（阿多野谷）
撮影日	令和8年7月23日
応募者コメント	当施設は、下呂温泉近くの支川で砂防堰堤で発生した落差に石張工にて縦断勾配の緩和と流れの多様性を確保しました。水が少ない左右岸には植生が繁茂し、魚道の下流では、釣りを楽しむ姿も見られます。酷暑の時期には、涼が得られる場所です。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	岩組による多自然魚道
撮影場所	下呂市竹原（竹原川）
撮影日	令和8年7月23日
応募者コメント	当現場は岩組工法を利用して河川の落差を緩和し、生物の移動を可能にしています。施工には現地の石材を利用しており、周辺環境と調和した景観となっています。また、コンクリートは使用していませんが、施工から10年以上経過した今でも機能を維持しています。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	矢道川の水際植生の再生
撮影場所	大垣市矢道町（矢道川）
撮影日	令和8年7月14日
応募者コメント	矢道川の改修時に、空隙がある連節ブロック護岸を施工したことで、既存の植生を回復するとともに、複雑な水際植生を再生した事例です。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	神岡の町並みとガッタンゴーと山田川（寄せ石工法）
撮影場所	飛騨市神岡町船津（山田川）
撮影日	令和8年7月23日
応募者コメント	飛騨市神岡町の町並みと旧神岡鉄道敷を利用したガッタンゴーの橋梁と、町の中心を流れる山田川の寄せ石工法。河道掘削工事施工時に、施工業者が高原川漁業協同組合と協力して勉強会を開催しながら、寄せ石工法による多自然型川づくりを創出した



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	稲越川の転石利用による多自然型川づくり（置き石）
撮影場所	飛騨市河合町大谷（稲越川）
撮影日	令和8年7月23日
応募者コメント	稲越川の河道掘削工事に伴い発生した転石について、施工業者が宮川下流漁業協同組合の意見を聞きながら多自然型川づくりに利用した。 1. 土羽護岸法尻部保護のため、置き石を並べて護岸補強を図った。 2. 河床掘削後の川の生態系への配慮から、置き石を並べるように配置した。 工事完了後約2ヶ月が経過して、川の瀬と淵が形成され、多自然型川づくりが達成できた。



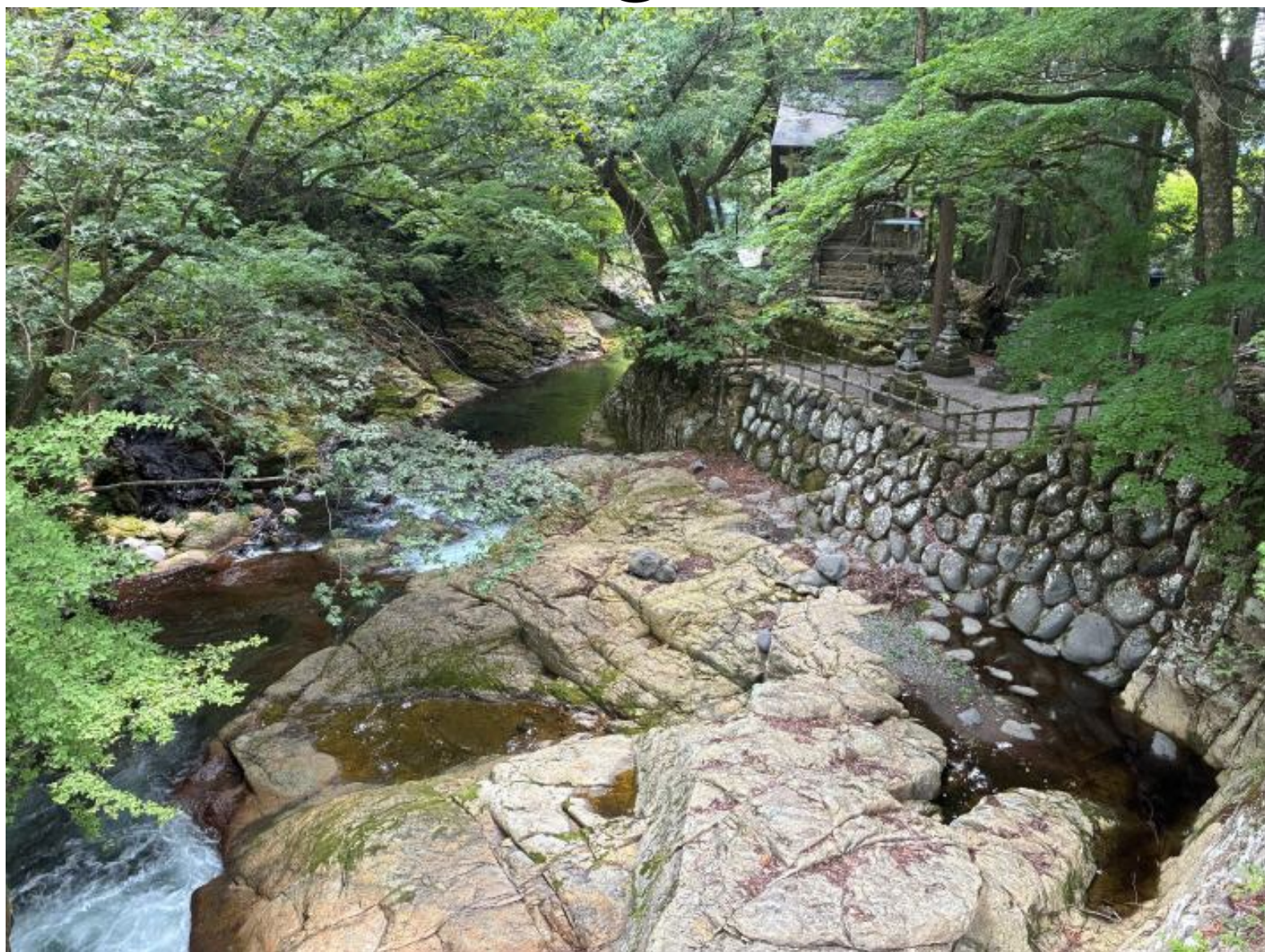
岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	かわまちづくり「とみぱーく」
撮影場所	加茂郡富加町滝田（川浦川）
撮影日	令和8年7月24日
応募者コメント	「富加町かわまちづくり計画」に基づき整備された水辺拠点である「とみぱーく」。隣接地には駐車場、トイレが整備され一連の空間として広がっています。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	やさしい砂防
撮影場所	飛騨市神岡町跡津川（跡津川）
撮影日	令和4年8月13日
応募者コメント	神通川水系の跡津川上流に整備された砂防施設群。コンクリートスリット型の堰堤は、水生生物の縦断方向の移動に配慮されている。石組状の横断工によるプール&ステップにより、流速の緩和や河床保護のみならず、景観形成にも寄与している。下流の集落、カミオカンデ、国道41号など多様な保全対象をやさしく守っている。



岐阜県 自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	清流と共に生きる護岸
撮影場所	郡上市白鳥町野添（牛道川）
撮影日	令和8年7月31日
応募者コメント	牛道川の清流と渓谷の景観に調和する石積み護岸です。長い年月の中で樹木や岩肌と一体となり、人工構造物でありながら自然の景観に溶け込んでいます。水辺の環境を守りながら、人々が楽しめる河川空間が形成されている様子を撮影しました。